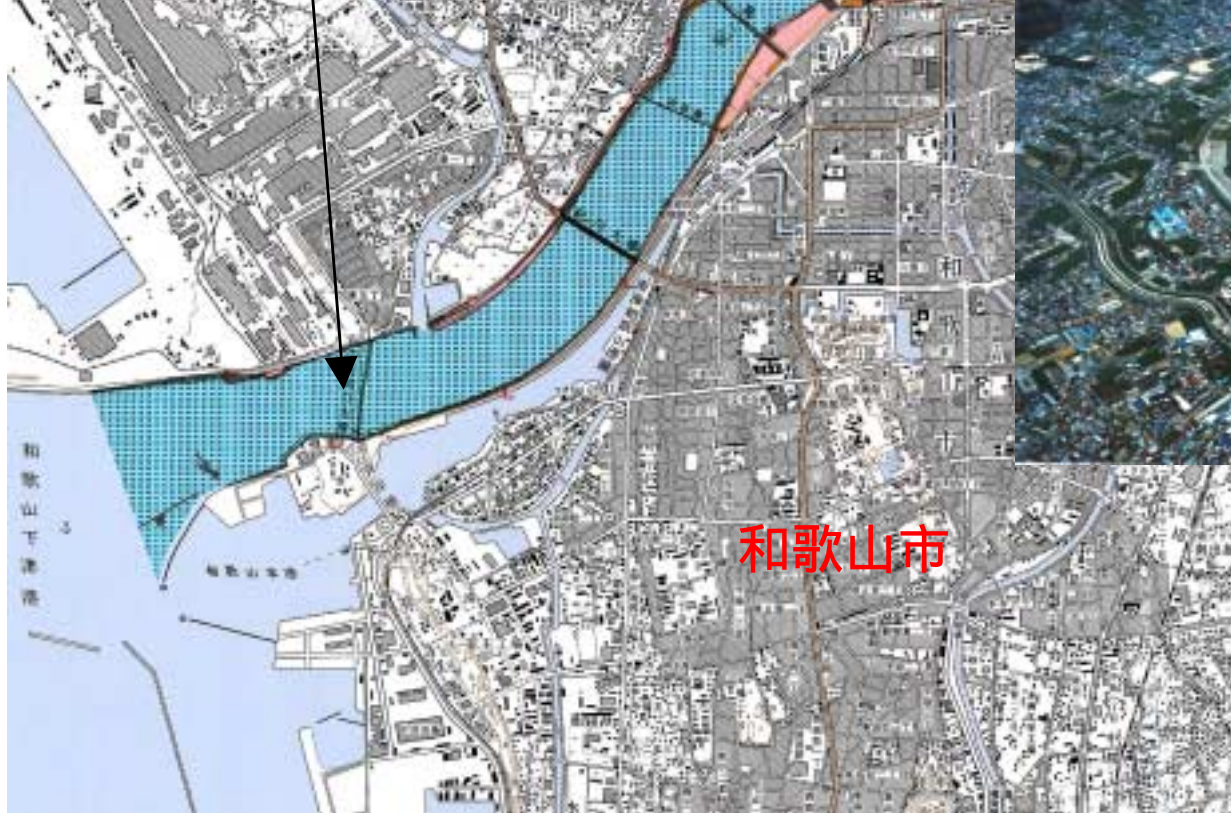
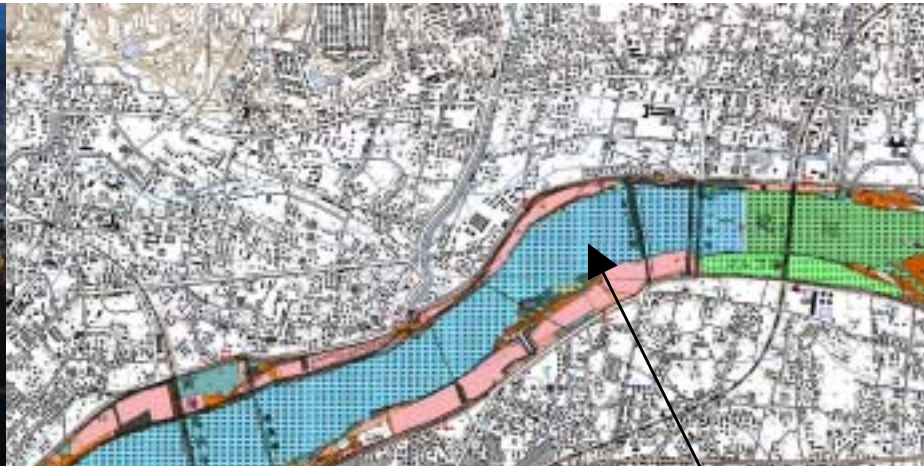


河口 ~ 新六ヶ井堰



凡		例	
水	水草	水	早稲
生	湿生植生	城	田
状	ヨシ・ツルヨシ群落	状	ワンド
況	オギ群落	況	過水域
	ヤナギ林	況	よどみ
	草本植生		干潟
	低木林		
	高木林		
	植林地		
	耕作地		
	人工草地		
	人為裸地		
	人工構造物		

環境特性による区分	河口～新六ヶ井堰
環境の概要	汽水域で潮の干満による水位の変動がある。河岸の一部には干潟がみられる。
特徴的な生息環境	ヨシ群落・シオクグ群落、干潟が特徴的な環境となっている。
水生生物	スズキ・ボラ等の汽水魚、干潟に生息するシオマネキ、タイワンヒライソモドキ等がみられる。
陸生生物	カンムリカイツブリ、コアジサシ、カワセミ等の注目種がみられている。
植物	ヨシ等の抽水植物群落、シオクグなどの塩性植物がみられる。
特徴的な景観	ヨシ等の抽水植物群落、干潟。
利用	(高水敷利用) 市民スポーツ広場・紀の川第1緑地・紀の川第3緑地・紀の川第4緑地・紀の川第5緑地・紀の川第8緑地・河西児童遊園・船所広場 / (水面利用) 漁業 / (活動) 釣り・散策・スポーツ等

代表的な種類（ _____ は注目種）

（魚類）

スズキ、ボラ、エドハゼ、チクゼンハゼ、トビハゼ、メダカ、シロウオ

（エビ・カニ類）

ミナミテナガエビ、ハクセンシオマネキ、シオマネキ、マキトラノオガニ、台湾ヒライソモドキ、トリウミアカイソモドキ、ヒメケフサイソガニ、ウモレベンケイガニ、台湾ガザミ、モクスガニ

（貝類）

ヤマトシジミ、イシマキガイ、ウネナシトマヤガイ、ムシヤドリカワザンショウガイ、マルウスラタマビキガイ、マゴコロガイ、ソトオリガイ、カノコガイ、カワグチツボ、エドガワミズゴマツボ、フトヘナタリガイ、アカニシ、オキナガイ

（鳥類）

ユリカモメ、ウミネコ、カワウ、ミサゴ、カンムリカイツブリ、コアジサシ、チュウサギ、ハヤブサ、カワセミ、ハチクマ、タゲリ、コシャクシギ

（植物）

ヨシ、セイタカアワダチソウ、シオクグ、カワヂシャ、キンガヤツリ、ウラギク

（昆虫類）

キイロカワカゲロウ

（小動物）

ハツカネズミ、イシガメ、カナヘビ、アマガエル、ヌマガエル



台湾ヒライソモドキ

イワガニ科。甲幅10～15mm。河川汽水域の潮間帯の石の下に生息する。大阪から台湾に生息するが、まとまった個体群としては、紀の川が北限となる。新六ヶ井堰下流部の生息地が紀の川大堰の運用とともに消失するため、代替生息地造成等の保全対策を実施。



ウモレベンケイガニ

イワガニ科。甲幅15～20mm。ヨシ原周辺の潮間帯上部の石や流木の下に生息する。紀の川における生息地は南海橋周辺に限られており、生息地は少ない。



シオクグ

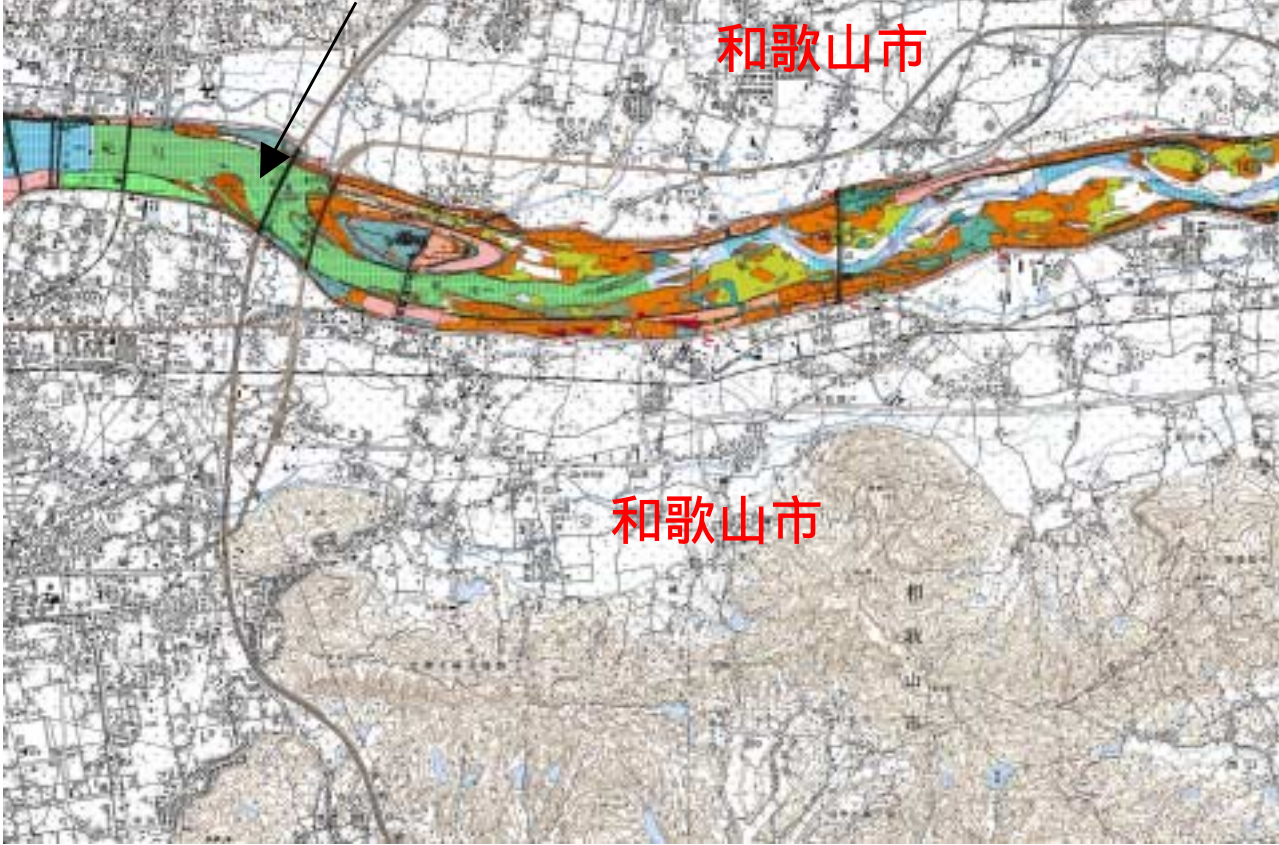
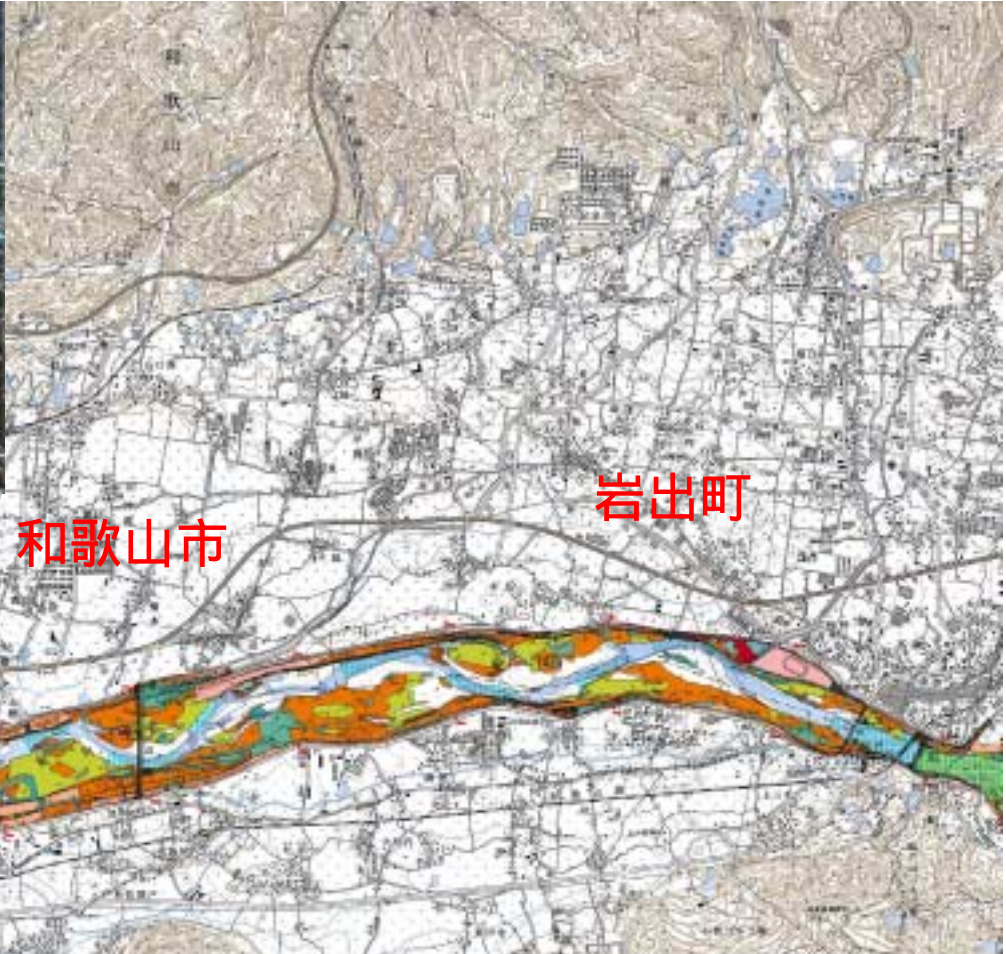
カヤツリグサ科。海岸の塩水の出入りする泥地にはえる多年草。茎は高さ30～50cmで、花期は4～7月。



ウラギク

キク科。別名ハマシオン。茎は高さ25～55cmになり、花期は8～11月。海岸の湿地に群生する。

新六ヶ井堰 ~ 岩出井堰



岩出町

和歌山市

和歌山市

		具	例	
植	水草		水	早瀬
	湿生植生		城	源
	ヨシ・ツルヨシ群落		状	ワンド
状	オギ群落		況	過水域
	ヤナギ林		況	よどみ
況	草本植生			干涸
	低木林			
	高木林			
	植林地			
	耕作地			
	人工草地			
	人為裸地			
	人工構造物			

環境特性による区分	新六ヶ井堰～岩出井堰
環境の概要	下流側は新六ヶ井堰の湛水域で水位変動は小さいが、上流側は河床変動により流路の変遷が激しい。
特徴的な生息環境	小豆島、小豆島下流側のワンドが特徴的な生息環境となっている。
水生生物	ワンドではギンブナ、タイリクバラタナゴ、オイカワ、アユなど多様な魚類が生息し、また、ミナミテナガエビ、キイロカワカゲロウ、ミヤマサナエ等の注目種がみられている。
陸生生物	チュウヒ、ハチクマ、ヨシガモ等の注目種がみられる。
植物	カワラヨモギ - メドハギ群落、ツルヨシ群落、オギ群落がみられる。
特徴的な景観	小豆島、小豆島下流側のワンド。
利用	(高水敷利用) 紀の川第2緑地、紀の川第6緑地、紀の川第7緑地、川辺広場、満屋広場、大宮緑地 / (水面利用) 漁業 / (活動) 釣り・散策

代表的な種類（_____は注目種）

（魚類）

オイカワ、アユ、ムギツク、ヨシノボリ、スゴモロコ、アブラハヤ、コウライモロコ、イチモンジタナゴ、タウナギ、メダカ、アカザ、タイワンドジョウ、シロウオ

（エビ・カニ類）

ミナミテナガエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、モクズガニ

（貝類）

ヒメタニシ、サカマキガイ、マシジミ、カワニナ、イシマキガイ

（鳥類）

カンムリカイツブリ、カワウ、ミサゴ、チュウサギ、ハヤブサ、オオタカ、ヨシガモ、チュウヒ、ハチクマ、マガン、カワセミ、チョウゲンボウ、ウズラ、コアジサシ

（植物）

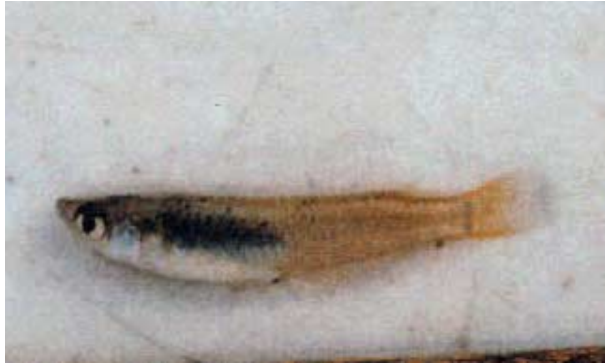
ヨシ、セイタカアワダチソウ、ミゾコウジュ、タコノアシ、ハマウツボ、カワラサイコ、フジバカマ、ヒメミゾハギ、カワヂシャ、イヌノフグリ、ノコギリソウ

（昆虫類）

オツネトンボ、ムスジイトトンボ、キイロカワカゲロウ、ミズムシ、ミナミアオカメムシ、ベニイトトンボ、イトアメンボ、ミヤマサナエ

（小動物）

ノウサギ、カヤネズミ、タヌキ、イシガメ、スッポン、シマヘビ、トノサマガエル、ツチガエル



メダカ

メダカ科。全長3cm。平地の池や湖、水田や用水、河川下流域の緩流部などに生息。塩分に対する耐性も高い。プランクトンや落下昆虫などを食べる。昼間に活動する。



カワラサイコ

バラ科。日当たりのよい川原や砂地に生育する多年草で、茎は高さ30～70cmになり、黄色い花を6～8月につける。



イシマキガイ

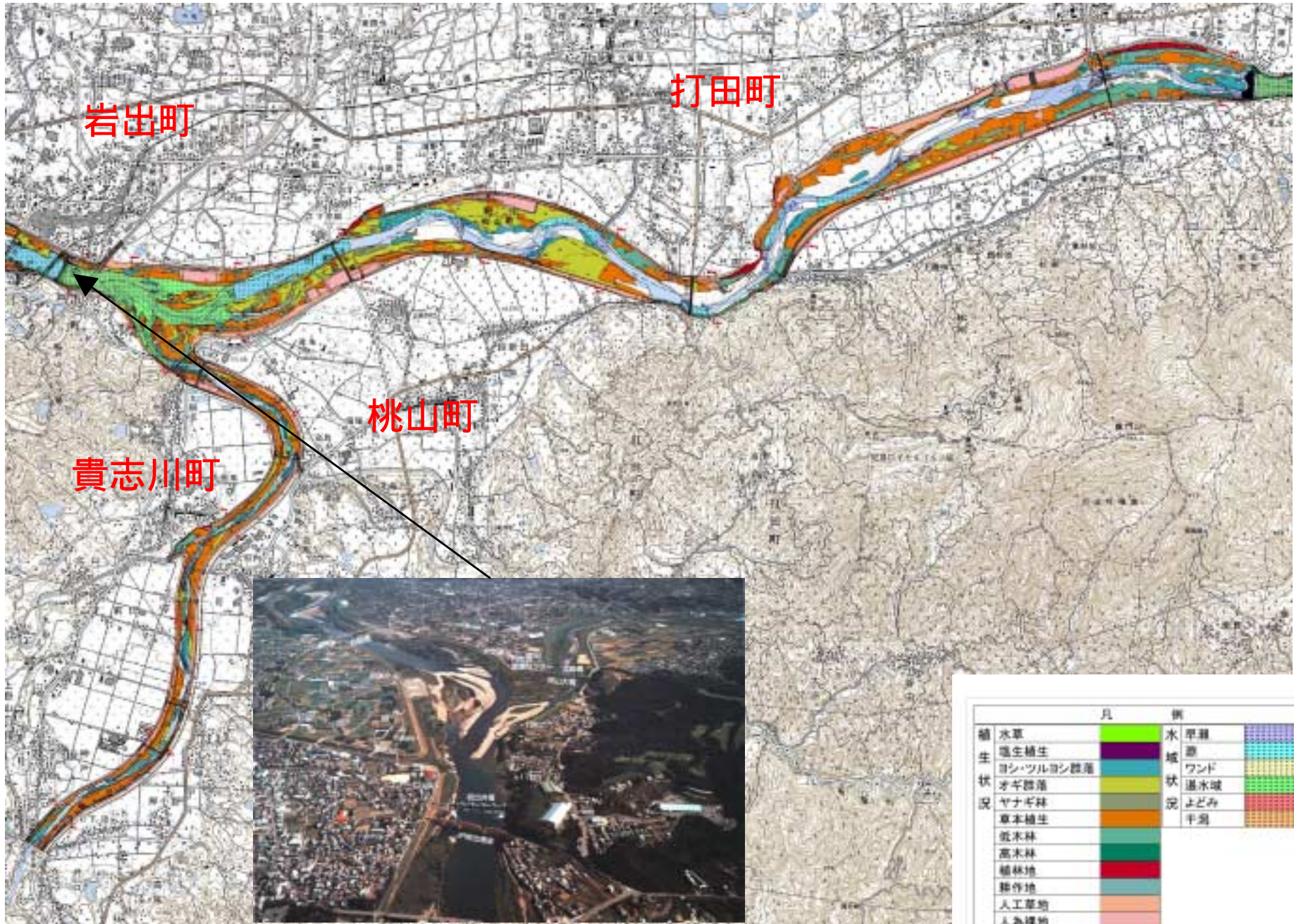
アマオブネ科。殻高20mm。汽水やそれに近い淡水の礫底に生息。本州中部以南に広く分布。



スッポン

甲は非常に扁平で柔らかな皮膚に覆われている。河川の中流域・大型の湖沼に生息する。肉食性。飼育下では15年以上生息した記録がある。

岩出井堰 ~ 藤崎井堰



岩出町

打田町

桃山町

貴志川町



		具	例	
植	水草	[Green]	水	早瀬
	湿生植生	[Purple]	城	源
状	ヨシ・ツルヨシ群落	[Light Green]	状	ワンド
	オギ群落	[Yellow-Green]	況	過水域
況	ヤナギ林	[Brown]	況	よどみ
	草本植生	[Orange]		干涸
	低木林	[Teal]		
	高木林	[Dark Green]		
	植林地	[Red]		
	耕作地	[Light Blue]		
	人工草地	[Pink]		
	人為裸地	[Light Orange]		
	人工構造物	[Black]		

環境特性による区分	岩出井堰～藤崎井堰
環境の概要	下流側は岩出井堰の湛水域で水位の変動は小さい。河口から20km付近から上流は瀬と淵がみられる。
特徴的な生息環境	井阪の淵、竹房の淵
水生生物	オイカワ、アユ、ニゴイ等の淡水魚が生息している。また、ミナミテナガエビ、アブラハヤ、コウライモロコ等の注目種がみられる。
陸生生物	カワウ、ミサゴ、ハヤブサ、オオタカ等の注目種がみられる。
植物	カワラヨモギ - メドハギ群落、ツルヨシ群落、オギ群落がみられる。
特徴的な景観	桃源郷
利用	(高水敷利用) 桃山河川南緑地町民第2運動場、紀の川ゲートボール場、紀の川グラウンド、町民ゲートボールコート、粉河河南緑地、粉河町民運動場 / (水面利用) 漁業 / (活動) 釣り、散策、スポーツ等 / (イベント) 紀の川流し雛

代表的な種類（_____は注目種）

（魚類）

オイカワ、アユ、ニゴイ、ギンブナ、アブラハヤ、ウグイ、コウライモロコ、シマドジョウ

（エビ・カニ類）

ミナミテナガエビ、スジエビ、アメリカザリガニ

（貝類）

カワナ

（鳥類）

カワウ、ミサゴ、チュウサギ、ハヤブサ、オオタカ、ヨシガモ、カワセミ、チョウゲンボウ

（植物）

タコノアシ、ミノボロ、カワヂシャ、ミゾコウジュ

（昆虫類）

キイロカワカゲロウ、ミナミアオカメムシ、モンスズメバチ、ミヤマサナエ

（小動物）

アカネズミ、カヤネズミ、カナヘビ、シマヘビ、ウシガエル



アブラハヤ

コイ科。全長13cm。主に河川上流域から中流域に生息。また、下流域や湖沼の岸際にも生息する。雑食性。本州のみに分布。



ミサゴ

ワシタカ目の中では珍しく魚食性である。留鳥として海岸、大河川、湖沼等に生息する。水面上を高く飛翔しながら獲物を探し、ダイビングして獲物となる魚類を捕らえる。海岸の岩の上や岩棚、水辺に近い大木などに営巣する。



カワウ

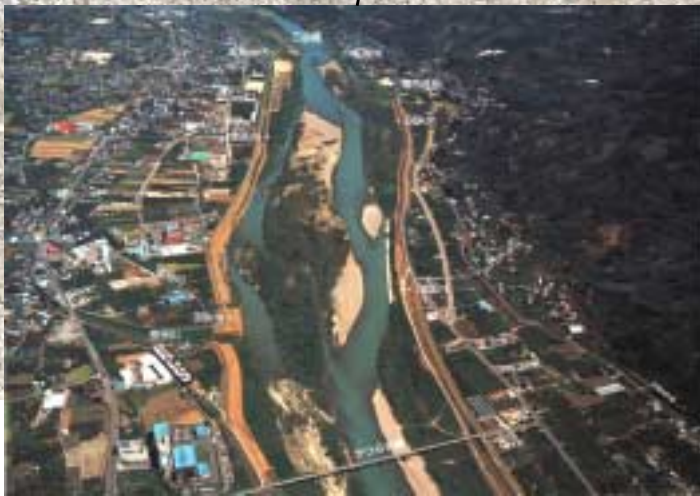
ウ科。翼の開長が130cmになる真っ黒な大型の鳥。本州南部で繁殖し、冬は各地に現れるが少ない。近年特に減少している。



ミゾコウジュ

シソ科。湿った草地やあぜにはえる越年草。花は淡紫色で5～6月に咲く。茎は高さ30～70cmになる。

藤崎井堰 ~ 小田井堰



		具	例	
植生	水草		水	早稲
	湿生植生		城	田
	ヨシ・ツルヨシ群落		状	ワンド
状況	オギ群落		状	過水域
	ヤナギ林		況	よどみ
況	草本植生			干涸
	低木林			
	高木林			
	植林地			
	耕作地			
	人工草地			
	人為裸地			
	人工構造物			

環境特性による区分	藤崎井堰～小田井堰
環境の概要	瀬と淵がみられる河川中流域の環境となっている。
特徴的な生息環境	ひなごの淵、ひなごの瀬、妹瀬の淵、蔵出の淵、なめらの淵、金谷の淵、切付の淵、大岩の瀬、慈尊院の瀬
水生生物	ギンブナ、オイカワ、ウグイ等の淡水魚が生息している。また、アブラハヤ、アカザ、ミナミテナガエビ、モノアラガイ等の注目種がみられる。
陸生生物	ハヤブサ、オオタカ、ハイタカ、ヨシガモ等の注目種がみられる。
植物	カワラヨモギ - メドハギ群落、ツルヨシ群落、オギ群落がみられる。
特徴的な景観	藤崎の法華経岩、妹山・背山、船岡山、おしょぶ池、小田井堰
利用	(高水敷利用) 那賀街総合運動場、憩の広場、紀の高校川ゲートボール場、ちびっこ広場、紀の川高野口第1緑地 / (水面利用) 漁業 / (活動) 釣り、散策、スポーツ等 / (イベント) かつらぎ町夏まつり、紀の川下り、鯉のぼり丹生川渡し・紀の川桜並木

代表的な種類（_____は注目種）

（魚類）

ギンブナ、オイカワ、アブラハヤ、ウグイ、カワヨシノボリ、アユ、アカザ

（エビ・カニ類）

ミナミテナガエビ、スジエビ、サワガニ、モクズガニ

（貝類）

カワナナ、モノアラガイ、マシジミ

（鳥類）

カワウ、ミサゴ、チュウサギ、ハヤブサ、オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウ、ヨシガモ、オシドリ、ツクシガモ、カワセミ、イワツバメ、シジュウカラ

（植物）

ユキヤナギ、カワヂシャ、コギシギシ、タコノアシ、キングヤツリ、オオタニワタリ、エビネ、ヤガミスゲ、ミノボロ

（昆虫類）

キイロカワカゲロウ、モンズズメバチ、ムスジイトトンボ、ミヤマサナエ

（小動物）

カヤネズミ、ハツカネズミ、タヌキ、ミシシッピーアカミミガメ、カナヘビ、トノサマガエル、ツチガエル



アカザ

アカザ科。全長10cm。川の中流から上流の瀬に生息。石の下や隙間にすむ。夜間に活動することが多く、主に水生昆虫を食べる。背鰭と胸鰭の棘は大きく、刺されると痛い。



モノアラガイ

モノアラガイ科。殻高15～20mm。池沼や水田、川の淀など水草や礫に付着している。泥底に直接いることもある。湖周の水田やクレーク、宇治川、淀川のワンドで水草が繁茂しているようなところに多い。



ツクシガモ

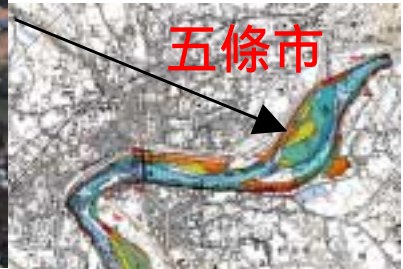
冬鳥として主に九州地方の広大な干潟に渡来するが、他の地方では稀である。主に、波打ち際の浅い水面で貝類、甲殻類、小魚等を採餌する。



タコノアシ

ユキノシタ科。泥湿地、沼、水田、川原など水位の変動する場所に多い。高さ30～80cm、花期は8～10月。

小田井堰 ~ 栄山寺橋



		具	例		
植 生 状 況	水草		水	早瀬	
	湿生植生		城	源	
	ヨシ・ツルヨシ群落		状	ワンド	
	オギ群落		況	過水域	
	ヤナギ林		況	よどみ	
	草本植生			干涸	
	低木林				
	高木林				
	植林地				
	耕作地				
	人工草地				
	人為裸地				
	人工構造物				

環境特性による区分	小田井堰～栄山寺橋
環境の概要	瀬が多く分布し、河川中流域～上流域の環境となっている。
特徴的な生息環境	東家の瀬、古佐田の瀬、びわの瀬、島の瀬、御蔵の瀬、てんじ浦、まわり瀬、百間瀬
水生生物	ウグイ、カワヨシノボリ、シマドジョウ等の淡水魚が生息している。また、アユカケ、アブラハヤ、コウライモロコ等の注目種がみられる。
陸生生物	ミサゴ、ハチクマ、カワセミ、チョウゲンボウ、ウズラ等の注目種がみられる。
植物	ツルヨシ群落、オギ群落、竹林がみられる。
特徴的な景観	
利用	(高水敷利用) 若者広場、神野々緑地、岸上グラウンド、コミュニティー広場、市民ゲートボール場、第2市民ゲートボール場、向副緑地、野原テニス広場 / (水面利用) 漁業、(活動) 釣り、散策、スポーツ、カヌー等 / (イベント) 紀の川祭り・農業祭、吉野川祭り

代表的な種類（ _____ は注目種）

（魚類）

ギンブナ、オイカワ、アブラハヤ、ウグイ、シマドジョウ、カワヨシノボリ、ニッポンバラタナゴ、コウライモロコ、アユカケ

（エビ・カニ類）

ミナミテナガエビ、スジエビ、アメリカザリガニ

（貝類）

カワニナ

（鳥類）

カワウ、アオサギ、ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、ハヤブサ、カワセミ、イワツバメ、カシラダカ、オオジュリン、チョウゲンボウ、ウズラ、タゲリ

（植物）

カワヂシャ、タコノアシ、タキキビ

（昆虫類）

キイロカワカゲロウ、ミヤマサナエ

（小動物）

アカネズミ、カヤネズミ、ハツカネズミ、タヌキ、カナヘビ、ヌマガエル



コウライモロコ

コイ科。全長15cm。大きな川の中・下流域に生息。流れのゆるい砂底や砂礫底の底近くを群泳する。雑食性。濃尾平野、和歌山県紀の川から広島県芦田川までの本州瀬戸内側と四国の吉野川に分布。



ミナミテナガエビ

テナガエビ科。体長90～100mm。河口から中流域まで生息。繁殖期は3月から9月で両側回遊魚種。神奈川県以西の日本から台湾にかけて分布。



ミヤマサナエ

サナエトンボ科。幼虫時の体長26～29mm。幼虫は河川の比較的中・下流域より流れの緩やかな砂泥底に生息。成虫は7～9月に多い。本州・四国・九州に分布。



カワヂシャ

ゴマノハグサ科。川岸、溝のふちや田にはえる越年草で、茎は高さ10～50cmになる。